

高校生向けスタディ・ツアー実施

WARCが加入する「北九州市SDGsクラブ」を通して、環境保全へ寄与している企業の一つとして選定いただき、スタディ・ツアーを実施しました。これは「企業活動がどのようにSDGsへつながっているのか」などSDGsに関わることから、「社員の仕事への熱意や責任感」など職業観に至るまで、多角的な内容を学生に知っていただく取り組みです。

今回WARCでは、20名の福岡県立小倉高等学校1年生を対象としました。高野社長による事業内容などの説明や、学生を2班に分けて生産部長と営業部長の引率による工場見学を実施。SDGsの取り組みや、社員の仕事に取り組む姿勢を知っていただきました。



SDGsの推進に若手社員が活躍

WARC入社5年目の伊音さんがSDGs推進士業協会主催の第3回SDGs検定に挑戦しました。本検定は、過去2回実施された際の合格率は2〜3割程度にとどまっている検定です。伊音さんは本検定を自主的に受験し、なんと合格を勝ち取りました！

さらにWARCでは、若手社員数名が集まって今後会社で推進するSDGsへの取り組みを企画するなど、社員一丸となって活発に活動しています。



社長からのメッセージ

今後さらにSDGsの取り組みをレベルアップさせ、産学官とのさまざまなつながりを広げていくと同時に、リユース・リサイクルの地域連携も深め、循環型社会を作っていきたいと思います。創立30周年(2029年)のあるべき姿に向けた年々の目標を明確にし、達成への活力ある取り組みを推進し、その成果を対外的にしっかり発信していきます。

西日本オートリサイクル株式会社 代表取締役社長 高野博範

今後もWARCの取り組みに注目です!

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

吉川工業グループ会社 西日本オートリサイクルの SDGsへの取り組みをご紹介します!

1993年、吉川工業は使用済み自動車解体技術の研究を開始し、世界初のシュレッダーレス方式のリサイクル方法を開発後、1999年にグループ会社「西日本オートリサイクル株式会社(WARC)」を設立しました。創立以来WARCでは、環境にやさしい自動車リサイクルの追求を通じて、循環型社会の構築に取り組んでいます。

今回は、WARCが近年特に注力しているSDGsへの取り組みの中から大きく3つ、そして社長からのメッセージをご紹介します。



WARCが
特に取り組みを
強化している
目標



シートベルトバッグ製作へ協力

リサイクル事業を支援する「福岡県リサイクル総合研究事業化センター」のご紹介で、筑後市の就労継続支援A型(※1)事業所ディアスポラ様で制作される「シートベルトバック」の材料を無償で提供しています。従来であればシートベルトはサーマルリサイクル(※2)されていましたが、身近なものにリユースされるようになりました。

今後とも、3Rを志す地域企業との絆を大切に、自動車のリユース・リサイクルに取り組んでいきます。

(※1)障害や難病のある方へ就労の機会を提供する福祉事業

(※2)製鉄所でリサイクルされるスクラップに内包され、熱エネルギーとして回収・利用する方法



シートベルトを
エコバッグに

